

宇治山田 商業図書館だより

風はまだまだ冷たいですが、日差しに暖かさを
感じる頃になりました。
3年生のみなさんは、いよいよ卒業ですね。
3年間、たくさん図書館を利用してもらい、あ
りがとうございました。
1・2年生のみなさん、それぞれの進路に向け
て、図書館をうまく使って下さいね。

図書館からのお願い

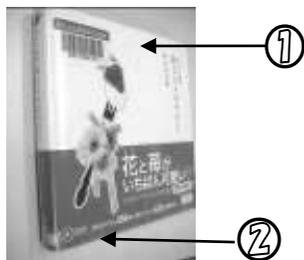
“山商図書館本”の返却を！

「督促されていないけど、図書館の本がずっと手元にある」という人は
いませんか？貸出処理のミスで、うまく貸出できていない本の可能性があ
ります。

家や教室、部室、ロッカーなどに図書館の本と思われる本がありまし
たら、図書館前のポストに入れておいて下さい。お願いします！

【図書館の本の特徴】

- ①表紙（裏表紙）に「宇治山田商業高校図書館」緑色×白色のバーコード
- ②本の背の下側に3～4ケタの数字やカタカナ文字を書いた白いシール
- ③ビニールでコーティングされている
(表紙をめくるとわかります)



裏面は、先生方からの「人生に影響を与えた本」の紹介です。

ぜひどうぞ！

図書館イベント終了しました

1月18日～22日の間に行った図書館イベント「古本の回収」にご協力
いただき、ありがとうございました。

みなさんのご協力のおかげで、目標を大きく上回る1147冊の本が集ま
りました。集まった本は、2月5日（金）にNPO法人へ寄付をしました。
3年生は自宅学習期間中のため、2年生の中で回収冊数が一番多かった2年
5組の図書委員が、回収した本をNPO法人へと手渡しました。大変喜んで
いただくことができました。

また、このイベントについて、中日新聞、伊勢新聞、いせ毎日に掲載され
ましたので、紹介します。

クラス別の回収冊数は、次のとおりです。

	1位	3-5	478冊
	2位	2-5	78冊
	3位	3-3	76冊



ら活動する海女の紹介動画の作成や、食品ロス削減の啓発活動などに取り組んでいる。同人の実績を新聞記事で知った主任教諭の発案で、全生徒が取り組める活動として、一冊ずつ自宅にある小説や漫画、絵本などを持ち寄り、寄付することにした。

一月十八～二十一日の間、各クラスの図書委員を通じて集められた本は、当初の予定の約二倍に及んだ。

同校で目、本を寄付取ったNPO法人の福田副理事長(左)は「集めるのは大変だったと思う。中身を確保して、施設利用者(ニ)ズを聞きながら届けたい」と感謝を述べた。

昆虫園など千冊を寄付した園原科一年の舟橋その美さん(右)は「本の内容に興味がある人に読んでもらいたい」と話した。(足達優人)

中日新聞・伊勢新聞
いせ毎日に掲載されました

☆☆☆先生が紹介する「人生に影響を与えた本」☆☆☆

長谷川先生に影響を与えた本

『僕たちが何者でもなかった頃の話しよう』

山中伸弥 羽生善治 是枝裕和 山極壽一 永田和宏 著 文春新書

IPS 細胞研究で有名な山中伸弥教授、将棋の羽生善治さんなど計4人が、大学生向けに行った講演・対談をまとめた本です。自分には手の届かないように思える人たちも、実は様々な失敗や挫折をしながらひとつひとつ活動を積み上げてきたのだと、この本を読む度に勇気づけられます。文章は話し言葉を文字に起こしたもので、読書が苦手な人でもきっと読みやすいはず。私が、高校生だった頃の自分に勧めたい本のうちの一冊です。

松葉先生に影響を与えた本

『最高のコーチは、教えない。』 吉井理人 著 ディスカヴァー・トゥエンティワン

私が教員を目指していた大学時代に会った本です。本来であれば、選手を指導するのがコーチの役目ですが、なぜ教えてはいけないのか。理由の1つとしてモチベーションを奪うからです。私は、選手に強くなってほしいという気持ちで、1つ間違えると上から押しつける教え方になりかねないということを知りました。著者はコーチングの心構えとして、「選手を主役にする」と述べており、選手側としても、指導者側としても心に響く一冊でした。

村井先生に影響を与えた本

『銀の匙』 中勘助 著 岩波書店

高校の時にこの本に出会った。友達からの薦めだった。「まだ読んでないのなら読んでみるよ、いい小説だから」そんなぶっきらぼうな言い方だったような気がする。小説の内容は、食器棚で見つけた銀の匙から幼年時代の思い出に紡ぎ出していくといったものだ。少年の目に映った日常が美しい日本語で綴られていく。この小説がこれからも若い人たちの手に渡り、読み継がれていくことを期待します。

吉田先生に影響を与えた本

『青が散る』 宮本輝 著 文春文庫

大学受験を終え、夢と希望に満ち溢れ私は京都に旅立った。京都生活初日、原付バイクで街を走り出した。その時、ハンドル操作を誤り、洋服店に突っ込みガラスを壊し、いきなり親から渡された4月分の生活費を使い果たした。そんな時、大学の掲示板にテニス部勧誘ポスター「新入生、晩ご飯おごります」の文字。導かれるように私のテニス部の生活が始まった。その時部室にあったのがこの1冊。「青が散る」はテニス部員の生活や恋を描いた青春小説である。主人公のような生活を夢みながら、私は日々テニスに打ち込んだ。今年で顧問として 30 回目のテニス部員を送り出す。何が人生を決めるかはわからない。

渡部先生に影響を与えた本

『海の底』 有川浩 著 角川文庫

「四月、桜祭りでわく横須賀米軍基地を赤い巨大な甲殻類が襲った！次々と人が食われる中、潜水艦へ逃げ込んだ自衛官と少年少女の運命は!？」(本のあらすじを入れてみました)

私がこの本に出会ったのは、高校生の時です。当時漫画しか読んでいなかったのですが、小説も少し読んでみようと思い、本屋の小説ランキングに入っていたこの本を手に取りました。初めて読んだ小説が有川浩さんの作品でよかったと思っています。それからドハマりして、有川浩さんの小説はほとんど読みました。初めて小説を読む人にも読みやすく、物語に自然と入り込んでしまうような小説が多いと思います。他にも有川浩さんの小説から映画になったもので「植物図鑑」や「図書館戦争」などもおすすめです！